

緑が映える、明るい空間作りも「あるを尽くして」



空間コーディネートは再利用、そして多様性を意識。照明も、使われなくなった器を傘にしたものを選び、同じものは一つとしてありません。



小上がりの和室は、休憩や来客スペースとして使用していきます。テーブルなどの家具も今まで使っていたものを再利用しました。



食堂の一番奥には、バーカウンターを設置。カウンターには水槽の端材を使用しました。夜は、ダークカラーの天井が映える落ち着いた雰囲気。



多様な樹種を用いた、材木屋らしいエントランス

エントランスは、針葉樹、広葉樹を含めた12種類の木を門のようにあしらひ、材木屋らしさを全面に出すようなデザインとしています。様々な木を使ったエントランス。ここにもコンセプトである「あるを尽くして」が光ります。自社の工場に残っていた木材を、幅も様々に配置。門のようなエントランスの設計によく調和し、食堂空間への入り口として印象的な仕上がりとなりました。

入り口右手には、第三食堂のロゴマークを設置。サインの材質にもこだわり、木材の上からでも映えるよう、銅を選んでいきます。

第三食堂

DAI3 DINING

第三食堂ロゴマークも制作。
社員アンケートを実施して、ネーミングを決定した。

社屋を改装して 第三食堂がオープン

第三木材の社屋二階を改装し、社員の新たな共有スペースとして『第三食堂』が、11月1日に完成しました。

第三食堂の発案と、改装工事のきっかけは「社員向けに、健康的な食事を提供したい」という社長と、総務部の社員の想いが重なったことでした。総務部の社員が、調理担当に自ら名乗りをあげて、企画が本格的に動き出しました。改装工事は、グループ会社の木楽ホーム株式会社へ依頼し、空間作りは社員一丸となって取り組みました。

設計コンセプトは「あるを尽くして」。これは長野県の方言で、余り物でも残さずに使って、という意味を持つ言葉です。改装に使う材の多くは、元々あったものを活かし、再利用しています。

食堂の食材は信州の地元農家さんの有機野菜も取り入れ、健康的で美味しい食事を提供する予定です。

様々な想いを乗せて作りあげた空間は、社員の食事や健康を考えた、福利厚生場として、またコミュニケーションの場として、これから活用されていく予定です。



DAI3WOOD通信 2023.12月号

発行元 株式会社第三木材

TEL:0268-62-1202

〒389-0514 長野県東御市加沢201-5

MAIL:info@dai3wood.co.jp

